

平成30年度前期「大野小学校 教育活動に関する評価」について

今年度前期の「教育活動に関するアンケート」への御協力ありがとうございました。このことにつきまして、結果の概要をまとめましたので、お知らせいたします。

本校におきましては、本結果を踏まえ、後期の指導をいっそう充実させていく所存でございます。今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

結果の概要について

- ◇教育目標【思いやる子・考える子・きたえる子】等を踏まえ、評価項目ごとに数値で表しています。
- ◇評価「A」は4、評価「B」は3、評価「C」は2、評価「D」は1として算出しています。評価は、平均値で表しています。
- ◇各評価項目の具体的な内容は、項目ごとに御覧ください。

1 教育目標「思いやる子」に関する評価の結果（網掛けは、平均値3未満）

- お子さんは、友達と仲良くし、他人を思いやる心が育っている。
- お子さんは、気持ちの良いあいさつや言葉遣いができている。
- お子さんは、いろいろな仕事やボランティア活動（1～3年生はお手伝い）に進んで取り組んでいる。

	思いやる心		あいさつと言葉遣い		積極的な行動	
	H30.6	H29	H30.6	H29	H30.6	H29
児童	3.43	3.42	3.27	3.21	3.37	3.21
保護者	3.33	3.37	3.04	3.11	3.15	3.04
教職員	2.54	2.62	2.31	2.48	2.77	2.57

保護者の皆様は、「思いやる心」、「あいさつと言葉遣い」の項目が昨年よりわずかに低く評価されていますが、全項目3以上の評価をいただきました。また、教職員も同様に「思いやる心」、「あいさつと言葉遣い」の項目が昨年よりわずかに低く評価されています。一方児童は、全項目昨年度より高い評価になっています。児童は、できていると感じていますが、不適切な言動が見られた場合は、具体的で理解・納得できる指導をし、自ら気付くことができるように指導していきたいと考えています。また、教職員は、児童の様子を御家庭に伝え、共通理解の共に育てていく意識で指導に努めます。

学校といたしましては、今後も道德を中心に据えた学習活動を通じ、他者への思いやり、場にふさわしい言動、自信を持った行動について、保護者の皆様と同じ目標に向かい取り組んでいきたいと考えています。

2 教育目標「考える子」に関する評価結果（網掛けは、平均値3未満）

- お子さんは、家庭で学習に意欲的に取り組んでいる。
- お子さんは、漢字や計算などの基礎・基本の力が付いている。
- お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいる。（10分×学年以上）
- お子さんは、筋道を立てて、自分の考えをはっきり伝えることができる。

	主体的な学習		学力の定着		家庭学習		効果的な伝え方	
	H30.6	H29	今回	H29	今回	H29	今回	H29
児童	3.37	3.29	3.26	3.25	3.03	3.03	3.10	2.97
保護者	2.82	2.84	2.92	2.99	2.66	2.77	2.67	2.71
教職員	2.54	3.10	2.15	2.71	2.08	2.79	2.00	2.24

保護者の皆様は、全項目昨年度よりやや低く評価され、すべての項目が3未満となっています。また、教職員も同様の結果となっています。一方児童は、全項目昨年度より高い評価になっています。児童はできていると感じていますが、保護者の皆様と教職員は、もっとできると感じることがうかがえます。

主体的に学び、学力を定着させるためには、与えられた宿題に終始せず、興味関心のある事柄について、自ら学ぶ意欲を育てる必要があります。また、効果的に物事を伝えるためには、理由や根拠に基づいて物事を伝える力を高めなければなりません。学校では、家庭学習の取り組みを見直すとともに日常の授業に「対話」を位置づけ、児童の力を高めていきたいと考えています。

3 教育目標「きたえる子」に関する評価の結果（網掛けは、平均値3未満）

○お子さんは、何事にも粘り強く取り組んでいる。
○お子さんは、健康に気を付けて生活している。
○お子さんは、安全に気を付けて生活している。

	不とう不屈		健康		安全	
	今回	H29	今回	H29	今回	H29
児童	3.50	3.34	3.56	3.48	3.52	3.54
保護者	2.84	2.86	3.15	3.20	3.25	3.28
教職員	2.15	2.52	2.50	3.05	2.38	2.70

保護者の皆様は、全項目昨年度よりやや低く評価されています。また、教職員も同様の同様の結果となっています。一方児童は、「不とう不屈」、「健康」の2項目昨年度より高い評価になっています。

保護者の皆様及び教職員の評価では、昨年同様「不とう不屈」の項目が3以下であることから、今後も、児童のがんばりを認め励まし、様々な活動で粘り強く取り組むことができるように指導を継続していきたいと考えています。

4 その他に関する評価の結果（網掛けは、平均値3未満）

○学校は、学校便りや懇談会などを通して、教育の方針や内容をわかりやすく伝えている。
○学校は、いじめの未然防止に向け、適切な指導をしている。
○学校は、「学習規律」をしっかり指導している。
○学校は「生活のきまり」をしっかり指導している。

	情報提供		いじめ防止		学習規律		生活の決まり	
	今回	H29	今回	H29	今回	H29	今回	H29
児童	3.78	3.73	3.57	3.54	3.43	3.29	3.45	3.35
保護者	3.40	3.46	3.22	3.32	3.39	3.45	3.43	3.47
教職員	2.85	3.19	2.92	3.19	2.77	3.10	2.85	3.05

保護者の皆様は、全項目昨年度よりやや低く評価されていますが、全項目3以上の評価をいただきました。また、教職員も同様の結果となっています。一方児童は、全項目昨年度より高い評価になっています。

「学習規律」や「生活の決まり」については、再度点検し、児童の実態を教職員で共有し、健康で安心して過ごすことができるように、徹底した指導を継続していきます。

また、「いじめは絶対に許されない」という風土を形成し、いじめのない思いやりにあふれる学校づくりに努めてまいります。

5 自由記述について

保護者の皆様より、アンケートへの記入とともに、御意見・御要望をいただきましたので、学校としての見解を述べさせていただきます。

<ul style="list-style-type: none"> ・6年生になってから、毎日、学校へ行くのを楽しみにしていて、家で学校のできごとや先生の話をよくするようになりました。このまま、学習も頑張って、楽しい学校生活を送ってほしいです。 ・いじめもなく、良い学校だと思います。楽しく通っています。自学が課題。 ・4年生になってから。いろいろなことに前向きに取り組んでいます。 <p>-----</p> <p>→ありがとうございます。子どもたちに「学校が楽しい」「勉強がわかる」といわれることは、教職員の大きな励みになります。これからも全ての子どもが楽しく過ごしていけるように努めてまいります。</p> <p>→家庭学習につきましては、学校としても力を入れているところです。御家庭での声かけ、励ましをお願いいたします。</p>
--

・不審者情報の詳細を知るには、どのようにしたらよいですか？ 学校からのプリントなど はないみたいなのですが、前校では、メール配信があったのですが、大野小学校の保護 者の方はどうしているのですか。

- ・いじめやトラブルがある時は、連絡してほしいです。
- ・学校としての取組は、教員個人からの発信となると差を感じます。

→不審者情報については、その都度、文書で全家庭に配布しているところです。また、知らない人について行かないなど、全校児童に継続して指導しています。学校からの配布物もたくさんありますので、お子さんへの声掛けの上、全てに目を通していただきますようお願いいたします。

→メール配信については、テスト運用中です。準備が整い次第改めて御案内いたします。

→学校全体にかかわる連絡等は、学校通信でお知らせいたします。学級内の連絡等は学級通信でお知らせいたします。また、両方を活用してお知らせする場合もございます。今後も保護者の皆様と連携して教育活動を行ってまいりたいと思います。お子様のことで気になることがございましたら、ぜひお知らせください。

・いじめの未然防止は、「学校は」ではなくて「担任は」ではないでしょうか。学校がいじめを未然に防ぐのはまず初めに担任がクラスの中で起きていることを完全に把握し、その上で学校全体で防止する体制を取るのではないかと思います。担任によって見立ては違うと思います。その上で最悪な結果にならないように対応してもらえば私たち親は安心して学校生活を子どもに送ってもらえると思います。

→保護者の方がおっしゃるとおり、子どもたちと一番接しているのは担任です。まず、担任が子どもたちの変化にいち早く気づき、いじめの未然防止に努めています。トラブル等が起きた場合、事実関係を確認したうえで学級内の話し合いで解決させ、よりよい人間関係の構築や子どもたちが過ごしやすい環境を整えていけるよう努めてまいります。また、トラブル等は、解決・未解決にこだわらず、担任だけが抱えることがないよう、職員全員で共有し、学校として対応しています。ですので「学校は」という表現を用いています。御理解をお願いします。

・家庭訪問の際にもお願いしましたが、2年生は次年度活動範囲が広がった際のルール等を学ぶ1年と思います。安全にマナーを守って生活できるよう学校と家庭が共通認識をもち、一貫して子どもに伝えられる工夫が必要と感じます。

→放課後の過ごし方については、学校としての大まかな決まりを提示し、御家庭に協力をお願いしているところです。自転車の乗り方や公園の使い方などルールの徹底を引き続き指導していきます。学校としての決まりを基本として、各御家庭やお子さんの実態に応じて、自転車の乗れる範囲や金銭の扱い、訪問先でのマナーは、ご家庭で細かなルールを作っていただくよう御協力をお願いします。

- ・12～15は、全くわかりません。

→年3回実施しているいじめ調査など、学校で取り組んでいることを学校だより等を通じて保護者へお知らせしていきます。